

第46回和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラムのご案内

日時 : 2013年6月26日(水)午後6時15分開始。(2時間程の予定)

場所 : 和歌山市:和歌山大学 システム情報学センター 1F第2演習室
田辺市:和歌山県立情報交流センター(ビッグ・ユウ) 研修室4
新宮市:みくまの支援学校 会議室
橋本市:きのかわ支援学校 会議室
岸和田市:和歌山大学岸和田サテライト(岸和田市立浪切ホール)

講演 : 「特別支援学校高等部の新しい教育課程の試み
- ト라우マを抱えた発達障害のある生徒の指導と支援 - 」

講師 : 和歌山大学会場 : 和歌山大学教育学部 武田鉄郎
和歌山大学附属特別支援学校 北岡大輔
田辺会場 : 和歌山県立みはま支援学校 赤松正敏
新宮会場 : 和歌山県立みくまの支援学校 浦木隆
和歌山県立みくまの支援学校 下村知香

【講演の要旨】

平成16年12月10日に制定された発達障害者支援法によると、発達障害とは「自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害でその発症が通常低年齢において発現するもの」であると定義されます。

発達障害は、学習の問題にとどまらず、周囲の人との対人関係や普段の行動など生活上に様々な困難が生じやすいです。しかし、それらの問題が障害に起因するものかどうかが分かりにくく、さらにどこまでが障害でどこからが本人の個性や能力の問題であるのかが周囲あるいは本人にさえ自覚しづらいです。また、同じ発達障害でもその問題の表れ方は一人一人違うため、自立のための支援を考える際にも、それぞれに応じた個別の支援内容が必要となってきます。

全国的な傾向として、発達障害のある生徒が特別支援学校の高等部に年々多く在籍してくるようになりました。知的に問題は抱えていませんが、カリキュラムにのらない生徒が多く、どのようなカリキュラムや指導法がよいのか、また、中学校から進学してくる生徒はどのような経験をしてきているのか、どのような心理社会的状況であったのか実態もよく分かっていない状況です。

そこで本フォーラムにおいて、特別支援学校高等部に在籍している発達障害の生徒に対して、先進的な取組を行っている3つの学校から発表し、事例やカリキュラム編成の内容、指導方法を発表してもらい、参加者と協議することを目的とします。

参加申込み : 不要。 当日、直接会場へお越し下さい。

問い合わせ先 : 和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラム事務局
ファックス : 073 - 457 - 7390
メールアドレス : info-seforum@center.wakayama-u.ac.jp